

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	図書館・視聴覚ライブラリー	コード	作成者	役職	図書館長
		03-02-05	星尾 靖行	氏名	星尾 靖行
				電話	64-1134
				このシート作成に要した時間	5.0 時間

この施策の アピール ポイント	教養、調査研究、レクリエーション等のために図書館及びBM（移動図書）を利用していただき、心豊かに生きがいのある生涯学習を行ってもらう。
-----------------------	---

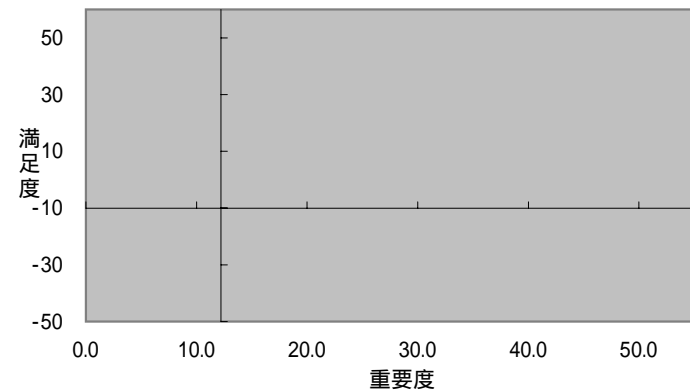
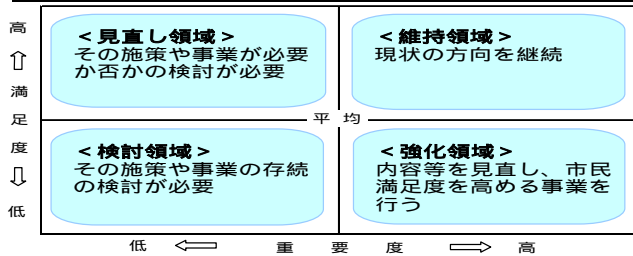
この施策の 平成23年度の 施政方針	図書購入費を増額し蔵書の充実と利用促進につなげてまいります。また、視聴覚ライブラリーでは地震と津波のDVDソフト等を購入し、ソフトの充実を推進してまいります。
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標（大項目）	地域文化と人が輝くまちづくり
	基本施策（中項目）	生きがいのあるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市内在住・在勤の市民。(H23年度から、赤穂市民、上郡町民にも図書を貸出。) 豊富な知識や多様な情報を市民に提供する学習施設として、利用の場を提供する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	図書館は、本館、日生分館、吉永分館の3館であるが、各館とも閲覧室、書庫が狭いことから、広くて蔵書の充実した図書館が望まれる。また、視聴覚ライブラリーは、高度情報通信化に対応できる施設として、機材・教具の整備が望まれる。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の充実 ・ 視聴覚ライブラリーの充実 ・ ・ ・ ・ ・ 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度 (%)				
満足度 (%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	自由意見で、図書館、学校図書室の図書の充実させるべきだとの意見があった。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
1人当たり貸出数	目標	冊	3.5	3.5	3.5	市民1人当たりの図書貸出冊数	H24	3.5
	実績	冊	3.1	3.1	3.0		H28	3.5
	達成率	%	88.6	88.6	85.7		-	-
	ベンチマーク						-	-
視聴覚教材及び機材の貸出団体数	目標	団体	100	100	100	視聴覚機材及び教材ビデオ・DVDの貸出団体(延)数	H24	100
	実績	団体	72	99	131		H28	120
	達成率	%	72.0	99.0	131.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
市の図書館を月に1回以上利用している市民の割合	目標	%		10.0	10.0	市民意識調査	H24	10.0
	実績	%		9.6	8.5		H28	10.0
	達成率	%		96.0	85.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
図書館	新図書館システムを更新し、利用者にとって便利なサービス（インターネット予約）ができるようになった。	利用者にとって便利になり、利用者の増加が見込める。
生涯学習課	備前市子ども読書プラン	子どもたちに読書に興味を持ってもらうことで、図書館の利用者の増加を図る。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	図書館については、市民1人当たりの年間貸出冊数を成果指標とし、図書館の利用促進を図っており、妥当な指標である。視聴覚ライブラリーについては、機材・教材の貸出団体(延)数を指標とし、ライブラリーの充実を目指しており妥当な指標である。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	図書館の利用促進を図る上で、図書館運営事業は適当である。特に、横断検索システムにより県立図書館、他館の資料活用が図られている。視聴覚ライブラリー事業は、機材の利用を図ることから、事業構成は適当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	図書の貸出冊数は、わずかな減少気味である。子供読書活動の推進、横断検索システム、移動図書館車のPRに努め、目標の達成を目指す。視聴覚機材の貸出については、目標達成をクリアし、今後も教材等の更新により利用者の増加を目指す。	
進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		『備前市子ども読書プラン』における推進取組として、備前市内小中学校の希望者に利用者カードを作成し、9月に配布予定。(7月現在、希望者約1,000人) 視聴覚ライブラリー教材として、DVDソフト5本購入済み。	
翌年度(H25年度)の取組目標		希望する小中学生に利用者カードを作成したことにより、今後の利用者の増加が見込まれるので、移動図書館車の巡回場所・頻度の見直しを行い、また、小中学生を対象とした図書の充実を図る。	
二次評価者コメント	役職 教育次長 氏名 岩崎 透	図書の貸出冊数は、わずかに減少しているが、子供読書活動の推進、横断検索システムによる共同利用等の促進を図っている。また、「備前市子ども読書プラン」の推進の取組として、市内の小・中学生の希望者に利用者カードを配布し利用者の促進を図ってください。また、現在図書館の閲覧室等が狭いことから、将来の図書館の建設について検討してください。	基本施策への 貢献度 3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 図書館運営事業	図書館運営事業	補助	14,061	10,581	1.37	17,096	11,292	1.40	30,644	10,976	1.32	19,347	-
	県図書館協会負担金	単市	12	30	0.01	12	94	0.01	12	101	0.01	12	
2 視聴覚ライブラリー運営事業	視聴覚ライブラリー運営事業	単市	1,300	441	0.07	10	267	0.03	441	159	0.02	313	
	県AVL連絡協議会負担金	単市	7	58	0.01	7	78	0.01	7	0	0.00	7	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			15,380	11,110	1.46	17,125	11,731	1.45	31,104	11,236	1.35	19,679	